

「革命の旗」をプロレタリア階級の 眞の思想的・組織的指導者とせよ！

旧「革命通信」から「革命の旗」へ

君！
「革命通信」の同志諸君！ 読者諸君！

遂にマルクス・レーニン主義の第三次ブントの機関車、単一の全国党的中核が戦取された。旧共産主義者同盟遊撃派と旧共産主義者同盟マルクス・レーニン主義派は、各々の分派の歴史に終止符を打ち、組織を統合し、共産主義者同盟（革命の旗）へと前進し、新たな歴史を歩み始めた。

これは、統合に関し未だに口先では、路線第一、実際では、お山の大将主義的傾向がブントのマルクス・レーニン主義分派に残存する中での革命的決断、偉大な成果である。

新たな組織には、新たな機関紙が必要。それが「革命の旗」である。「革命の旗」はプロレタリア階級の政治新聞であり、ブント総括を基礎とし、マルクス・レー

ニン主義、毛沢東思想を導きとし、自力更生と統合の二側面から党建設を推し進め、首尾一貫して日帝打倒・米帝退放・プロ独・社会主義革命を宣伝・煽動・組織化する。旧「革命通信」の全成果は、「革命の旗」に継承され、広々とした舞台、大工業化の中で打ち固められ、全国化される。

旧「革命通信」の同志諸君！ 読者諸君！

「革命通信」の準備・発行・組織化に注いだ數十、数百倍の犠牲的英雄的精神、物質的力量を「革命の旗」へ注ぎこめ！

「革命の旗」を眞の全国政治新聞へ鍛え、磨き、押しあげよ！ 「革命の旗」を高々と掲げ、労働者人民の中にわけ入り、「革命の旗」に引きつけ、高め、組織、組織、組織せよ！

る。

第一期は、創刊号から第一号、つまり「綱領草案」の発表までである。

この時期、旧「革命通信」は、創刊号の六つのスローガンを暫定綱領とし、統合に向かう論争、特に連赤総括をめぐり、旧

二名の立場

論を批判し、塩見路線の根

本が急進民主主義であること、更には、

獄中指導部論の合法主義を暴露・批判し、

彼らとの党派闘争を組織する中で、ブン

ト総括を深め、「経済主義・テロリズムの

急進民主主義を清算し、マルクス・レー

ニン主義のプロレタリア革命路線を獲得

する。(旧「革命通信」創刊号)ことをめざした。

しかし、塩見一派との党派闘争を、反ス

タロツキズムの見地から推進する傾向

があつた。故に「反スターマルクス主義」を揚棄し、マルクス・レーニン主義、毛

沢東思想反帝反社帝の総路線を獲得

するものとして旧「革命通信」は八号に「へ

た問題であつた。こうした情況を突破す

く、当時のブント系の多くが直面してい

た問題であった。

これは、旧「革命通信」だけの問題ではな

い。当時のブント系の多くが直面してい

た問題であった。

</div